

東日本大震災 久里浜医療支援心のケアチーム 7班活動報告

米田順一・三原聡子・柳沢純一・波島正子

久里浜心のケアチーム7班の活動状況

＜活動期間＞

平成23年4月17日～4月22日（金）

＜活動場所＞

岩手県大船渡市 大船渡町・末崎地区

＜チームメンバー＞

米田順一（医師）

三原聡子（臨床心理士）

波島正子（看護師）

柳沢純一（事務）



久里浜心のケアチーム7班の主な活動内容

- ①避難所に避難している方で、心のケアが必要と思われる方への支援
- ②在宅避難している方に対する、心のケア



久里浜心のケアチーム7班の主な活動内容

- ③保健・医療支援スタッフに対して、災害時の心のケアに関する知識の普及
(米田医師による「アルコール問題について」のミニレクチャー)
- ④大船渡市精神保健連絡会の参加



大船渡町の4月17日～22日の被災状況

大船渡市街



電車や船の残骸が取り残されている



末崎地区の4月17日～22日の被災状況

がれきが大量に残されている

津波の凄まじさを実感させられました



活動の1日の流れ

- 7:00 宿泊地発。道中本日の予定やケースの打ち合わせ
- 8:30 保健所にて情報収集と保健師からケースの情報収集
- 9:30 末崎地区の個別訪問。面接を行なう。
- 11:00 昼食
- 12:00 末崎地区の個別訪問。面接を行なう
- 13:00 末崎中およびふるさとセンターを訪問し、
面接を行なう。
- 14:00 大船渡中巡回訪問
- 14:30 北小巡回訪問
- 15:00 大船渡公民館巡回訪問
- 15:30 大船渡町の個別訪問。面接を行なう。
- 16:30 市役所着 保健師に個別ケースの報告
- 17:00 市役所にて保健・医療チームと合同ミーティング
- 18:00 終了・水沢へ



7班訪問者数

●7班合計家族数:27件

面接者数:31人(女性:21人、男性10人)

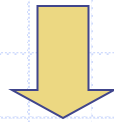
	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	計
避難所訪問数	2	8	6	7	7	5	35
面接者数	1	12	6	7	8	4	38
個人宅訪問数	0	2	6	2	3	0	13
面接者数	0	2	4	2	2	0	10
新規依頼	1	6	3	2	0	0	12

大船渡市の現在の状況

- ①避難所に避難している方だけでなく、在宅避難している方達の心の問題の高まりと、サポートが行き届かないことが多くなっている。
- ②支援者側（保健師・避難所の職員・民生委員）の疲労と、ストレスが増加している傾向にある。
- ③子供の心の問題が徐々に増えつつある印象を受ける。
- ④仮設住宅の建設が急ピッチですすすめられており、入居後も新たな心の問題が発生する可能性がある。

支援のポイントと心がけたこと

- ◆相手のペースに合わせること
- ◆積極的な傾聴と、ねぎらいの言葉
- ◆訪問・声かけを継続し、顔の見える関係・信頼関係を構築していく



避難所生活が長期化することが予測される。
支援の輪を広げ長く支えること。長いスパンで
支えることが大切ではないかと考えられた。

